



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100



甲陽軍鑑全集十八

公事之卷上

- 一
赤口閑左門寺川四郎左衛門被謀ノリ
志村義助・助兵三左衛門・三事一ノリ
吉原忠助・忠兵八助・付增・源八左衛門・三事
枝恒洋・洋右・曲閑・少佐・三事
曲閑・夏三・半龍・糸村・楊升・折詔
高金彦助・百般・三事・付・龍・糸井・三法・下・僕
高金宣丸・三事・付・半龍・糸井・高被謀ノリ・年・是・月
村升・内藤・事

甲陽道鑑全集

卷十八

公車之卷

○一赤坂虎門寺川口崩れ生枝流り

天文十六年未年佐多糸井七歳にて。ガセケ原吉友とあらうと
謂ひ實來事より赤坂。なつ上方窓の西に在り。そこで有人が宿
ゆかぬ入る後で傷りて。既よ細めて後。罪をふす川産と起
て。おに寄り胸づくと。身の傍へてけり。おに實。せうあざんと云ひ
お前。まば軍船の主。おに實。がた六七歳され。お寄りと仰
て。居す。お方乃足。とりて。又。お川。び。そ。良。袋。と。す。も。く。諸
あれ。是と。も。お。が。す。て。お。か。け。の。ま。り。き。と。も。く。して。後。お。れ。
え。お。う。ひ。つ。き。お。や。ま。お。に。實。と。お。川。と。つ。け。く。る。お。柄。と。る。
又。お。に。實。お。の。様。と。れ。え。が。お。川。と。つ。け。く。る。お。柄。と。る。
「腰外」に。お。と。り。する。お。冷。体。お。か。く。也。恐。利。佐。多。糸。井。乃。義。

何事にても二日には必ず同士をまことに仕
事の身は大へん少くある。毎日よけられ耳は聴かず。も
度ふも食事はまづらぬ。双方の仕事とすれども、やがて
ともかくたにすも脚筋からし。又病人までばの批判より脚
筋からじれきり。筋生ばる事はなむか勘みぬくと云ふ。す
のゆゑたりうざ。嘗てゐあるもふあむりた。筋筋筋筋筋筋
とあまふ。まがもうとアたゞハ海山もつ事す。ばくれ大。於役、
事ふや。お出のまよ。きぬの篠代。或ひ空木徳圓乃と方徳
掌の天とさかくへん。あはま。さ川。地主とさば
主上典既伝繁といふ。かへ生入び様よ。わあたふ侍よゆきと
教ゆ。作あまう生。あまめの西よりおへづ様み町人教
業の童子とくにトも。すもとすもとすもとすもとすも

物事。とくに下へて、信繁と。京。ひま。江
邊具。を。と。伝。ま。る。ま。る。て。あ。川。あ。川。あ。川。年。老。に。上。て。男。道
の。若。也。侍。が。ぬ。か。で。あ。く。し。う。れ。と。れ。道。か。く。觸。持。と。く。伏。
も。ぐ。よ。と。ま。ち。く。と。て。押。付。て。み。ま。く。よ。き。ら。れ。れ。
く。そ。ふ。あ。い。以。ち。り。又。を。せ。ら。う。る。と。よ。さ。う。胸。と。は。金。
き。か。く。と。て。夜。よ。獨。持。と。わ。き。け。く。金。き。り。か。が。是。ハ。金。持。六
い。そ。む。ゆ。と。れ。あ。す。持。者。持。者。に。よ。と。と。れ。今。方。八
除。へ。ま。し。ま。で。も。獨。持。る。よ。一。向。の。き。ま。や。町。の。住。み。つ。じ。
人。也。村。男。が。早。卒。に。あ。き。り。あ。は。實。た。つ。あ。川。心。高。た。高
き。く。見。ま。で。わ。び。く。ひ。と。と。他。も。の。村。判。も。う。と。ま。く。
時。候。が。家。火。瓶。と。て。女。人。麻。少。人。火。よ。う。作。付。あ。ん。ま。う。が。あ
立。屏。風。を。う。そ。て。落。出。ふ。の。と。う。り。板。と。鋪。セ。よ。と。て。板。障。え。

二入所^{アシテ}うかびとす。もうちよ半七ナ衆はまよお堂也
○二志村義助。ま蓋を一席云奉事もて。

同年秋月。彼等夫ア因ひ志村義助が武蔵を貰ひて車
も。志村八甲列。素性のま蓋へを易め車へされど。志村義
助と久松一^{ヒサシタ}て肩^{アシ}とす。後^{アフタ}に底^{シタ}とぞ。あくづくの^{アカツクノ}せ。
足音のとこ^{アコ}とて。どうにかの^{アシテ}射男^{アキト}らりがくい。
隣の時を因^{アシテ}て。戎田^{ヨウダ}・肩^{アシ}とぞ。義助とお撫^{アフタ}し。
にあくと仕^{アシテ}と。力^{アシ}と。がくと。をと。ば。被^{アラシ}と大湯
情を被^{アラシ}ゆり取^{アラシ}る。遂^{アラシ}まか。以下^{アシタ}と志^{アシタ}之助^{アシタ}を
かきとす。そのひねわがまが蓋あづびに坐^{アシタ}。肩^{アシタ}とそ
ば仕食^{アシタ}。ゆふゆひぬ。毛^{アシタ}を拂^{アシタ}と。手^{アシタ}と。身^{アシタ}と。毛^{アシタ}
乃役者^{アシタ}の。うかれ。分^{アシタ}残ぬまく。是^{アシタ}と行^{アシタ}と。そと。こう

勝^{アシタ}と。大傷^{アシタ}を被^{アシタ}ばくれ。主^{アシタ}と。守^{アシタ}と
え。志村兵作^{アシタ}。あ^{アシタ}と。中^{アシタ}の首^{アシタ}と。伏^{アシタ}ふせ。蓋^{アシタ}
や死^{アシタ}。うに。をゆく。至^{アシタ}の。じ。相^{アシタ}じと。かの。よと。死^{アシタ}たると
志^{アシタ}村^{アシタ}は。かきゆく。ひそ。而^{アシタ}と。傳^{アシタ}れ。うき。からぬ。盡^{アシタ}。
なれど。蓋^{アシタ}は。ま。ま。死^{アシタ}。の。裏^{アシタ}も。うりん
腹^{アシタ}と。被^{アシタ}く。死^{アシタ}。ん。傳^{アシタ}革^{アシタ}。入^{アシタ}。か。と。傳^{アシタ}。去^{アシタ}。も。あ。ま。よ。そ。ふ
十四^{アシタ}の。下^{アシタ}半^{アシタ}。食^{アシタ}。そ。と。主^{アシタ}。被^{アシタ}。方^{アシタ}。と。あり。が。志^{アシタ}。死^{アシタ}。中
弓^{アシタ}大^{アシタ}弓^{アシタ}。も。と。志^{アシタ}。す。と。而^{アシタ}。股^{アシタ}。が。死^{アシタ}。と。傳^{アシタ}。れ。を
ゆく。うそ。沿^{アシタ}の。馬^{アシタ}か。と。そ。股^{アシタ}。が。死^{アシタ}。と。傳^{アシタ}。人^{アシタ}よ。見^{アシタ}。る。志
村^{アシタ}と。主^{アシタ}。大^{アシタ}。弓^{アシタ}。ひ。り。う。か。と。志^{アシタ}。主^{アシタ}。の。と。死^{アシタ}。か。と。被^{アシタ}。れ。を
うそ。と。死^{アシタ}。を。傳^{アシタ}。と。主^{アシタ}。と。生^{アシタ}。和^{アシタ}。と。死^{アシタ}。と。見^{アシタ}。る。黒^{アシタ}と。も。

少吉あふる方のふたぬ軍に反するをめぐる。摩との
和見の親のふたまつげりとせりとく国安と書。どお役者にて
きだ。おとては義典へりうる。はあ村が親、志村もと車にて
佐虎の時代。後酒のふうそ。兵糧と合戦勝利。軍
堺役員、兵七八衆のとよきの付すとひ際高と突崩
も。立刻は馬を並一あよ達と入城をかねて柄をも
おれとよら。次よ宿毛は親のじゆきと志村へ飛みて
金は、はばえと佐吉云はむかはれば、うそじ代官業をや
うそじめとえいへがためと底原のあらうりうそ隠
根ぬよ。その景物もして、ひお葉よら底佐吉云はんと出
うのあらうね。おも目めとよもせす。おもて物、家の
肉と一た刀も合せうと尋う。志村老角のふと見

不平に憤り然登れ牛と起らる事うされ出。せん直
便ともちれし。もじく助もれりま。まじうれはけひがく
うとみうろとハ二がみてひと。即ニおみの町人。直うもみ
かり移よアよアハ槍同して。実近せひそそうのよ景うりれば。
みハ今てものうみたくは。町人は代持て志村役ハ十四人石役
も。もあてぬ。或は役役立ゆくほのびと不意とくら
り。あく後はもれをとくの御とあゆく刃とあゆくの
片よりと。押はめう。今の人をとり、不意それ
を。左外へとてれて威風によきうね。二五方そそくも
伏せじと改玉廻りて、おとまんとなくうそ。ほ中る御。本
きよ。よおとく。相馬とよけつけひとあに志村役うりけく。
首をすぶらうこ下せ。信吉云は。相馬とよけつけられて莫矣。

もうちひよる中ちと伏うがたるま。町へたま。切石をかじる。死人より刀圓つゝ出まくらせる。腰巻笠被伏ま。二方そそらひよ。そゑ村役り来て。まこと程伏代うごぬま。町へたま。改めゆき。住まそのうびと一刀をそなえうごぬま。町へたま。二方そそらね下の伏代伏らる。は伏役と云は後ト大ビにまむてこどもをさばけ。射を助けりを云ひる。おもては腰(女)へぬ。又今越をさのひ又町をよ。自人の場所をさう。貢遊(女)へり。腰(女)をさう。ばくわとす通と股脛をよ。ま。そ。そ。腰(女)をせう。ばくわとす通と股脛をよ。ま。そ。そ。腰(女)をさう。ばくわとす通と股脛をよ。ま。そ。そ。腰(女)をさう。ばくわとす通と股脛をよ。ま。そ。そ。腰(女)をさう。ばくわとす通と股脛をよ。ま。そ。そ。

やまの腸ねそは塊の糸くらけえう。色あまざわう。ふ
よ。此まで今れ因人へ。アランオラウ財公。武笠が仕歌ひ。と高
ハニニル。もくらひと。ド。後^{アラ}をまうあつ。國々の方^{アラ}て退
きゆうとあき。娘^{アラ}て途^{アラ}。おれ股へ腸持ひけ付られて
武笠放ちろく。くるに志村役來で。おと伏ふかみく。と
上手ほほまく。武笠ほの役すと高^{アラ}。まもれ松判^{アラ}及
ぬと高のま役作出生う。ハ役處^{アラ}代秋十三年。約二百人
の車うち木柄の腰歌玉をもと七十人選出。又ま中うち兵三
人^{アラ}て。あらかじて石^{アラ}門に内細物^{アラ}とり。志率
ゑされ櫻はと度の氣^{アラ}助がとくよ。そりはるをえり。のゆう。りの
後^{アラ}まくら殺^{アラ}と。かと後^{アラ}まくら。隣^{アラ}て。所と付小玉腕^{アラ}と。首
太刀^{アラ}と。戊殺^{アラ}と。衣冠^{アラ}と。腰^{アラ}と。居食^{アラ}と。方^{アラ}往^{アラ}。

はけハ祐てゆるびと難とたゞり。京うへてとりつニケ本切。義満が
事あるかとぞ思ひ。寔付て勤務様に致し。又田波瀬が主體。え
立候と伐。も後さめとまし。後紀一て安。麻瀬ね半傳承も。う
和廢後代孫也。ほの御大旨をかねん。御も。づ考に伐敷
御も。刻御松も。もすと。悔く。ほろれ候と。他派してハ
ノンも。あき信玄が家と。公事のあよはぬ。と。興とハいも。
忠。東准子と。と。成役者。て。翠。主の用に。も。て。これ。公事推
測。て。へぢうに。も。居。も。十。も。役。も。り。行。へ。け。は。且。付。及。ハ。御。も。威
威。め。や。に。み。居。も。十。も。役。も。り。行。へ。け。は。且。付。及。ハ。御。も。威
威。に。也。て。必。因。人。代。ゆ。後。より。お。基。例。の。ゆ。且。付。及。ハ。御。も。威
事。也。相。持。武。主。均。の。富。擊。も。と。ば。家。に。甚。て。も。不。入。を。禁。だ。と
て。他。事。も。拂。も。然。も。柄。で。來。あ。か。く。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。

文武殿多き時。佐吉が。あに。あれ。私事も。も。乃。批判。を。證。う。本
證。見。せ。や。め。あ。よ。と。て。上。乃。敵。ア。よ。連。接。わ。に。め。ひ。う。も。後。志。村。今
の。も。柄。も。ほ。う。が。因。合。戦。よ。討。死。と。く。も。志。村。兼。右。衛。級。通。は
所。被。て。後。け。ん。詔。を。と。う。同。小。曾。板。塙。付。終。下。平。原。宮。内。休
志。村。兼。右。衛。士。と。あ。今。う。見。持。ゆ。極。有。五。軍。終。て。翌。日。に。流
泊。女。人。底。と。以。船。う。く。詔。を。度。武。主。よ。す。と。是。く。の。料。が。と。に。下
す。う。り。の。也。る。と。う。と。て。夏。廻。く。八。代。は。と。往。伯。太。と。に。
若。魚。門。の。う。と。て。旅。使。士。も。勇。か。く。第一。軍。は。櫻。に。以。勝。利。と。先。々
の。詔。す。れ。ば。は。乃。と。而。ハ。嘗。後。り。と。之。の。私。あ。う。済。く。ま。え。と。も。る
様。級。の。斜。月。意。と。う。い。れ。う。と。せ。

○三。長。源。長。助。も。八。親。敵。付。ゆ。甘。堵。城。源。八。席。二。事。う。ゆ。

永禄元年に西々さるを阿久らを豊鷹。甲列の都と流傳する
事より長源長左衛門として。元六被謫謫伏と云ひて御用をそなへば
度先も故友も柳松ヤシキ又同縁外見方よ移す何うでかん教くも
主は信頼未だ田の山に不全。主を馬マサニにも信者助。大へじて
又人ありば見方に母ウタ教てやとへそ。觀の教をもんと年月候
兄エサ一才ハ安國ヤシキの義理ヨリ三。係列スル義法ヨシハ。極扇ヨシハのきに寄る
え。思廻シラフて用ヨミとまやうふとまくと百日あまり延るも。ひめ
の朋ツカ。傍城源八翁。而アリ共義。夫ハ清野九翁。被空ヒムツ。四。詔ツキ
教ヨシハ扇ヨシハも。あらへ先蛇ヤシキ一不そぞれソラシテと云。長助。長八翁と
少漁ヨシハと云。アド私アシカシの小足コトブキと助考ヨシハの。生ヨシハせくゑ
がく。赤湯アヂヌなるも。桜シダレ別シタツて不後せよ。生ヨシハ甲列ヨシハも。も
若詩ヨシハも。りよそー他アシカシそのる。を教ヨシハ居ヨシハ。是アシカシり。審ヨシハ

二二二。えわいよれゆなり。がをとまくも十に一つうそー。さて
道ヨシハき明安ヨシハ乃金ヨシハと。まもと。父ハチのとれ和ハシマー一方に。つ江渕
しても。おも入れ内不色ヨシハ。おひづう。二そへ。やすらも。と後ヨシハ。代
ぬ。や。半ハ。中シ。生ヨシハ。強ヨシハ。ゆ。必落ヨシハ。降ヨシハ。おけ教ヨシハ。と。ぶひ
ら。ゆ。そーと云。され。金ヨシハのとれ。候ヨシハ。ち。連ヨシハ。の起ヨシハ。と。た。か。を。お
見ヨシハ。才ヨシハ。た。孫ヨシハ。よ。て。下ヨシハ。と。見ヨシハ。か。お。櫻ヨシハ。城ヨシハ。と。ほ。そ。も。よ。と。
云。名。櫻ヨシハ。是。と。ま。り。が。く。の。酒。と。ま。に。仰。ま。何。方。と。男。と。女。と。え。や。
又。助。を。力。お。そ。て。死。ぬ。ま。と。と。あ。る。な。ま。き。る。死。も。う。ハ。千。れ。わ。百。よ。
男。の。内。死。く。ハ。且。後。死。ん。と。い。く。、。室。の。用。に。も。見。來。立。す。死
體。と。殺。う。ハ。且。後。死。ん。と。い。く。、。室。の。用。に。も。見。來。立。す。死

且そくハ切内。ソレトモトモラ換トス。又ヘ外モアリ。ぞ
キハああた方にはせばやとんじてちくゆるき氣走り。せい
一のとまれば既よ雪トス。板木桺板松月緑灰見オ大則ミ。然シカ
上宣さればよ下十丈入モ。定めもて旅宿の事へ出る。お物を八方
かく。とを。とよ下八十人。を。とよ下四人。が。と十人。されば。被度モ。是也。
私ら又。全く。大勝。されば。ある。敵。よけ。ゑ。と。と。敵ハ。ひ。も
の。も。そ。び。よ。されば。敵人。あ。く。て。も。くれ。ふ。ま。べ。ゆ。と。交。ハ。無。ひ。そ
ゆ。り。は。今。ま。す。ゆ。ん。と。想。よ。モ。と。敵。ハ。只。今。う。重。ど。り。ま。男
ハ。纏。あり。て。凡。よ。広。太。の。方。から。れ。の。役。に。が。き。あ。ざ。り。の。付。か。れ。
は。夏。敵。討。を。手。ね。ハ。ホ。モ。ゆ。く。あ。う。ら。の。る。也。と。伏。て。食。え。う
相。手。も。蜀。の。ふ。お。紫。角。角。モ。見。育。の。ふ。四。人。の。助。育。皆。も。蜀。

義。と。之。が。因。い。て。下。す。り。ん。が。既。よ。付。國。見。合。赤。才。ハ。六。ナ。不。ア。負
併。も。た。は。う。た。ニ。チ。赤。才。よ。も。と。也。と。不。ト。う。つ。モ。ト。中。に。傍。坡。源。八。第
八。不。ア。负。敵。軍。の。内。桺。の。深。ハ。う。伐。ト。モ。と。う。ぶ。と。敵。甲。列。ト。り
運。來。連。く。海。る。將。モ。と。表。モ。リ。ハ。全。人。を。も。と。主。年。才。ト。に。敵
登。長。敵。兵。八。門。の。ふ。軍。人。を。も。と。傷。モ。と。死。モ。と。助。育。方。代。後。軍。豪
儀。を。不。決。モ。更。モ。而。モ。而。死。モ。が。や。し。に。は。よ。れ。敵。討。を。の。く。ま。や。に
主。者。助。育。方。代。人。を。も。大。罪。モ。と。死。人。の。被。刻。モ。と。傍。坡。源。八
級。家。主。益。を。芻。勇。佐。エ。の。度。其。流。見。才。石。膏。也。益。矣。ヶ。傍。坡。源。八
四。人。又。被。友。リ。れ。矣。才。才。柄。モ。と。弟。佐。云。の。主。系。に。な。う。ち。流。見。才
聖。年。來。の。正。月。傍。坡。源。八。多。根。ハ。桺。从。モ。と。並。業。討。モ。と。う。セ。ト。も。
貳。軍。の。見。ハ。二。年。才。ハ。六。ケ。年。ふ。また。獨。人。令。れ。升。ハ。八。不。多。根。モ。

とくらうもん。それよりそほへば親類座られはすとありて觸遇る。
主事にもよれり人へ寄りにまねた只傍城が候うるをほくへゆく。次
出助兵八侍。ひうち里をまわし、御方役は源八や大。その御代もつは
海山原さむれば。おおきな夜まで火燈忍としてて。其の見方には
いそゞ。諸隊一執事はまわし。鬼林ノ様はたぬ。也は先方に連
ハ深へづも軍隊をく教。教と、忠義アれまじにげの慶する。ばく
諸隊。お伝ふわらの人の物語うれむ。にまの考もなく。しき
こも病ぢて。うつ。まととも毛足見方。また抱持果とく見え候と
も。右助左房四人の内。石高參を除。後室。三人の主従をも方を取る
所也。名近傍より兵柄をかくめり。ひとりの兵をも身をも持て
て。じとう様よ源八と。ばくと人とも主と。紫さつて。と和へん極楽堂
と。主方里へおどり。あくまでも毛足見方よりは。主方里へおどり。

見方も源八を伏教とあへ。然より右教討の時。毛角十分を経て
嘔嘔よもようとぞうとぞうと。ハ計て准ふくち成へねまへず。
左も度戸のよきと御辱をう。是より事にあらまれ、同安と以ひ承
ふはまげあ。まく附。お人河牙と見見つけ。流前ろゆに。は伝ま
西方乃日お坐候ある。お人なり。分すのやうの則を出づる。
才一。お酒是才が奉る。も協乃仕合ひ。なんも毛色幼びそ。離
る。親の教はば他室にあらと母子れど。さんと因ひ入才一
や。才の成と。おみ。殺半ら。おまへて大湯乃教と。どうとゆく。おゆ
お英万雄ヨウイチもん是也。まこと石高參を除。後室。三人の口もよれよ柄
の瓶よ。さて又敵をあきひきて。まうおせぬと。ハ武たとて。ひ
ら矢安丹経の事也。よぬハ敵十支。味方十二人。とお朝と因ひて

せし人ふ下にゆて、城より。敵嘗方もまへて傷あとら。それ門と
るかしへの方よて伐伏らわんともうべ。されどこの内のは舍かれ必
伐伏よろみ牛ひよ柄よてもる内。板づくれとばがの剛さうよ
もくく。をほのりよもが伐もよ。大剛の矢。君あこゑあひ
の時。みぞや石につまほきてうび織り。されば伐殺さうだ。され
時。乃は合けの曲をと云ね。餘も不る。よ抵なれだ。すて
奈地ナカニ。參也。殺ちうる外に目とせて。がじう蒲や。不え參かれ。武夫
只ふそのみて。ばくを招かとれ。もと古戻とハ松おもろ。傍は壁
らま乃ると云。君が務か本シテ道生トモリ。ち退是方里ミ
もと大剛の敵と他戦へ被て。さんざねう。怪のんを。被へて
を被殺の西ハタケ。我身に候ア。そ後ハタケ。被く。或カトてみよ。只大剛の敵よ
哉。也。並列義ハタケ。とくら人。殺參よれや。義にと殺參の事

たま。若うり。ハ出ハシ。とば兄弟。先移きて。うそと。作出ハシ。に付様
約是と。意ト。より。うそと。又。内シテ。乃。おせ兄弟と。とを。ゆう。お移
き。も。も。いき。の。を。袖中。親兄弟の敵と。別と。り。と。ゆく。め
け。已。ノ。一。親兄弟の。恭カウ。沙。にも。通。て。是も。大剛の。敵も。す
多。多。多。多。多。人。が。存。知。い。後。も。り。被。車。ハ。叶。す。た。ひ。敵。れ
て。入。魂。と。お。て。成。た。親兄弟の。敵。内シテ。も。被。死。し。而。て。幼。り。よ。り。よ
きて。射。殺。し。う。本。か。れ。彼。人。是。を。り。見。そ。や。そ。だ。ま。先。工
奥。源。初。世。も。の。人。每。に。我。う。ひ。の。魔。乃。と。よ。そ。用。じ。殺。者。乃。上
多。に。よ。う。も。と。り。床。あ。四。の。ま。く。よ。必。接。投。も。と。れ。あ。と。親
兄弟の。敵。付。う。え。被。が。り。つ。己。も。仰。に。ひ。て。と。く。ま。ん。れ。と。親
車。ハ。多。に。軽。く。付。再。ト。と。う。か。き。ん。が。う。も。う。つ。も。あ。く。も。お
小。金。て。八。敵。ハ。う。ゆ。一。れ。被。武。志。全。も。だ。う。か。ゆ。そ。ば。く。れ。も。

は思ひてまばらさて主の役にまことに。もの心利害をうかん心を
て。おもくお母にあらゆる事にあらず。病もなし。一齋年
もたばとこと草廬へが極の候。然へどだまむ。毎日機よあひて
わらう。まもと心かどでまごまがぬ。勢力大掛。作業は身効
がうち。思ひて付掛してあれ致。妻侍のうりて。女名を
うすこすと化す。けいとばは奥。おぼう同生の文。また絵画
矢や弓。高木乃手筋とみた。もとからいた様。ぬきとく
寄鑿物。あまの余派是才也。とてくらにほのとく。
足のふ搖絆とは。内。きらやか。神もめぐらし。緩搖絆を
ほむだ。かまとあ絆。そく生と。後は假想のとて。うつは
氣が重い。ぬけゆもねど。内。包。る。搖絆とて。みつて。神を
付。義方といふんぢうに。ひかみ。ねま柳。柳。高木

おもとて。うびうとをじうじよ。前室に志よおまへ。おも室を
うなぎ。展物にて。ボハ。差理ふとく。物や。身を。不來。肉。うじ
今。紙。が。失。ハ。れ。氣。ぬ。そ。元。日。ト。リ。モ。宋。よ。ハ。孤。モ。次。方。に。因。教。教。其
末。ト。モ。う。ま。く。に。柳。が。も。枝。ケ。而。乃。と。更。て。弱。れ。諸。博。が。あ。來
モ。一。刀。ゑ。切。て。二。ろ。び。う。ん。ま。う。で。済。ハ。人。方。を。柄。を。付。う
ゆ。も。ゆ。よ。と。う。経。の。付。す。う。よ。し。う。ゆ。且。公。主。の。用。に。立。す。
蓋。う。ま。く。の。多。他。う。そ。武。ち。が。意。か。れ。そ。る。ゆ。ハ。長。派。是。才
強。而。夫。を。傍。絶。家。す。も。一。延。ハ。廣。義。も。そ。傍。域。わ。く。治。只。才
方。上。お。ま。く。が。る。れ。う。豊。日。作。せ。り。と。お。ほ。兄。兄。才。才。才。
至。す。は。あ。れ。た。そ。あ。娘。母。と。喧。嘩。う。と。付。く。れ。き。事。う。れ。
海。ほ。小。字。べ。ー。そ。要。候。あ。ら。く。お。肉。友。漫。理。小。私。ま。ま。後
め。と。跡。と。の。と。そ。教。友。の。と。柄。と。あ。う。見。ハ。子。年。み。う。鹿。公。義。

小手折り付て一戸内上まで參る。才長八弟ハ。役以教多是
も。信玄云。信文せつゆて。おのの信誠源八。至三年。因に中嶋
金藏。はか跡く。已うと。信正。御侍。ま。古屋。也。源房。後高
侍。うと。又。又。又。又。源。よ。実。秀。あ。ま。代。鐵。久。それ。の。信
都。され。旗。下。乃。ゆ。並。に。鐵。火。ハ。ト。も。そ。と。又。方。代。と。
御。就。と。被。同。の。女。人。四。人。と。信。除。ハ。宿。宴。の。庭。も。信。体。う。殺。友
六。扇。う。信。玄。云。年。長。源。見。才。に。も。心。し。て。れ。と。ア。金。
手。取。が。う。る。と。效。え。度。も。皆。信。信。ハ。又。う。り。み。う。り。信。セ。ミ。セ
ト。と。信。主。れ。太。旗。同。の。女。人。八。三。井。平。兵。三。源。甲。三。米。坂。半。武
美。泉。相。川。基。又。三。井。平。兵。三。源。甲。三。米。坂。半。武
石。も。よ。う。り。坂。と。そ。し。ろ。と。ち。げ。坂。除。そ。捕。捕。逆。接。に。あ。キ。
と。あ。る。但。機。半。乃。を。な。れ。ば。う。れ。ま。ど。に。ハ。イ。と。そ。モ。可。ソ。リ。

小。揚。う。く。我。方。ひ。の。獨。い。そ。ん。そ。P。今。う。を。付。と。魚。つ。ひ。或。ハ。信。當
を。ふ。流。内。下。死。よ。ざ。内。

○。四。被。經。休。二。高。曲。閣。大。丸。生。大。云。來。く。り

甲。列。そ。ぬ。大。ね。乃。日。ひ。云。氣。五。う。仰。か。り。百。費。う。う。不。大。不。辛
費。う。高。う。ア。や。う。て。幸。更。対。續。う。あ。と。う。家。出。う。う。小。内。う。
五。余。う。ト。旗。ハ。主。地。主。知。め。よ。移。う。て。う。總。ハ。被。經。故。高。曲。閣。う
九。萬。ハ。毅。友。成。高。舉。も。震。れ。う。信。玄。云。信。友。か。も。され。被。經。小
官。ハ。と。う。序。優。相。及。清。乃。事。も。と。う。如。初。に。し。と。う。被。經。下。う。う。
ど。う。う。も。曲。園。も。系。シ。と。ハ。れ。す。と。移。生。但。う。う。と。ハ。い。と。次。年。今。方
の。起。西。利。何。達。乃。事。中。に。も。日。ひ。元。株。別。及。清。乃。事。も。益。入。そ。う。
人。も。ほ。う。給。か。れ。ま。も。親。へ。ひ。に。候。下。う。う。と。う。付。信。般。付。元
れ。候。す。且。終。二。高。曲。園。却。り。乃。反。候。す。も。お。門。う。う。と。に。涅。役。付。元。

父後河も代乃とくに詔書と云はばうやハ後河も代みのあたは
合力もそぞをもどくとどもす。とて父乃代とひよては家も度
成。後傳書へまつし。用にとほんとすれば節に合方は。も費後河
八首とまし合戦もゆくとけまび。またもゆくとけ。曲剣殺ふ合力ゆ
え。ハ何ともあきまへ成る多ぢよ。卒人の後役といへる。曲剣一ま
縣せど半石太是始食ゑまと云。あるまよ御行へに後役を
くべきもとあらわらに中乃大さく付てハ指揮と仕とつゝ。
指揮と仕とくは付。小ちにいわす。湯浦房役とす合て乃
れ合ありとす。後役乃えち抗幕もとゆきてゆ。とて中乃大
は孤もと益處す。何方と益はゆ。後役のゆくへ。経て勘とあま
丸町へよ相ひ。やうやう而武石乃事水内とぞ。已と今よこうと。曲
剣が。もとより意地もとゑなく。後役乃ち乃ゆ。別略

トアタシ。松伍をり。け、そもも又をゑぬ。とく曲剣と
る面にて。城とま方ハ敵本小もととぞんを下す。と後役ハ集つか
れめりと。後役ハま方(面)座の合力よせ。敵本と經(はまち)
後方乃は今一死吹役もあと。音にしきと合方お尋。入ゆと
走行とくのとく。敵にひといそんと。手と。杵を方へ元来
繫親の役友なれ。信玄を計りよじくと。作成。今ハ傳せ
張す。やと。思ひ。即ち。方と。更よ。すかと。とく。三五。二百
人。案乃口の役友も。敵のひなれを方と。曲剣も。ほと。見様危険と
て。内一まと。但し。に。す。合て。ねち。そんと。ハ。ゆく。と。ま。が。だ。り
と。は。され。先ハ。縣。う。と。流。化。と。そ。而。度。と。よ。そ。そ。後
役。と。く。それ。け。ふ。ま。そ。う。ん。ま。の。餘。自。案。乃。と。よ。要。役。友。筋。筋。が。だ。り
ま。ば。銀。收。人。と。曲。剣。ハ。方。招。よ。と。内。と。う。と。ア。モ。キ。タ。ゆ。

それ故に。そて曲園下へ。並んでう合て。され候みをと。かゑ中なる。すき乃
空氣も。その一に。よく。漫遊と。引ひて。我本身上の。ほづれやう
よそ。ぬまは。死と。お爲して。をと。そべ死と。そぞれ生と。つみ。ゆう
ゆう。やうとも。のと。後ねらむと。も。何たう。うそく。後玄。ほぬか
乃ち。うつし。も。と。あ。乃が。おれ。ば。死。乃大ぬも。死。と。ぬ。が。ゆ。う
かく。度。度。と。うく。め。れ。死。ハ。家。内。ゆ。う。も。ゆ。て。後。度。う。そ。本。
集。人。と。れ。び。の。城。内。と。そ。小。耳。へ。く。ゆ。き。と。り。也。先。秘。義。鑑
なれ。へ。傳。あ。ま。ん。長。坂。本。宗。設。ア。大。妝。と。れ。う。ば。と。秘。人の。経。舞。作
法。が。要。よ。内。ゆ。休。か。れ。ば。よ。に。付。て。ハ。天。吹。曲。園。流。成。殿。す。ア。今
と。え。ゆ。二。ア。ハ。ア。集。人。前。秘。義。の。名。ゆ。て。どう。づ。れ。と。ア。ハ。ア。の
聲。空。心。と。疾。不。幸。ゆ。く。あ。ま。が。の。ち。ハ。以。推。事。ハ。不。及。ア。申。列。伝。列。上
列。ア。キ。ク。ハ。三。之。子。と。あ。ん。モ。と。ま。す。奇。觀。と。魚。に。仕。れ。乃。ト。た。皆

さう。大。急。す。こ。そ。て。別。東。人。山。持。煙。と。ん。合。曲。園。が。難。い。の。ゆ。う。
と。う。佐。玄。云。不。切。が。う。瘦。よ。る。笑。あ。き。れ。う。に。況。二。十。它。又。ゆ。う。
山。事。派。支。名。山。後。を。う。か。う。笑。す。う。も。せ。られ。お。ま。段。作。お。ま。か。く。因。も
曲。園。め。お。と。如。奴。バ。お。と。太。の。と。く。也。大。花。煙。と。く。ち。く。れ。と。枝。と
れ。く。と。で。已。が。猿。猿。と。ハ。移。坐。異。よ。う。と。と。セ。り。え。て。の。漫。遊。も
や。獵。猿。よ。う。きて。ハ。渡。り。ま。だ。り。そ。ん。や。う。ヒ。佐。外。ガ。う。り。乃。城。に。サ。シ。て
城。主。候。と。あ。と。別。佐。外。代。主。に。あ。迎。合。の。場。と。そ。度。游。お。余。つ。
行。子。も。急。往。と。食。と。も。上。人。と。付。後。曲。園。と。之。私。侍。方。馬。達。待。下。乃
ま。然。行。子。款。主。廻。て。済。つ。が。じ。あ。足。と。初。日。夜。宿。う。宿。て。旅。す。乃
と。も。本。大。持。深。内。右。理。本。集。人。逍。遙。作。と。大。ね。り。て。ふ。も。深。い。ば
城。と。さ。う。ん。と。ま。う。り。が。度。游。お。余。つ。と。御。朱。と。さ。馬。と。ね。ど。ゆ。う。行。被。妻。
ま。不。よ。か。ま。の。酒。と。ビ。お。城。と。う。か。て。お。う。と。全。く。酒。と。あ。る。

もとくし。曲闌を一ふと。我吏の城主の乳とく。然後に
内宮前玉。板垣小門とく。廣瀬の御城へ押ゆる。とみだれ志
様。主張付。旗手とく。近江越中。出揚とて。不平をく。敵とす。六
人内さ。後。主政。近侍と入務ら致す。而來乃どくに勤め
あらわ。お来る。小使達アハ誠主の才。涼。氣勢。二方郭。内主
則。内主。堅老乃致。古今と云う。まことへお来る。がよひ中
旗手に二人。おねよ二人。今く。一人。は傳主。うち。曲闌也。お城もく
とくに。女テ。不。よ。金。く。や。おの。や。う。成。一。体。内。中に。お。入。づ。られ
あらわ。た。嘴。そ。わ。乃。ざ。く。口。病。と。仕。ま。や。ま。親。ふ。く。然。被。て。
ち。も。う。り。と。ば。か。被。る。多。う。り。也。と。作。出。す。う。と。ど。下。れ。板。列。曲
闌と。ま。と。も。病。む。か。も。も。ハ。ゆ。く。そ。ん。せ。四。す。う。又。そ
を。お。ー。き。る。と。従。人。れ。き。と。ハ。伝。主。云。い。と。不。て。ん。と。は。う。う。れ。

○五曲闌。貢。る事。に。難。言。付。橋。井。衍。詮。え。す。

甲陽吉田の一家。板垣後河山。佐野良房。後に曲闌
す。た。兵。ら。く。深。う。き。武。き。の。參。え。け。る。只。今。軍。眾。と。食。を。
る。の。故。軍。み。友。と。内。一。交。換。一。交。ハ。板。小。敵。お。官。更。は。或。時。板。曲。闌
ス。ウ。と。は。原。度。あ。と。三。取。ぐ。ば。友。ハ。私。友。内。ト。た。る。す。か。れ。ま。の
え。あ。は。と。お。は。な。也。ま。と。三。取。ぐ。ば。友。ハ。私。友。内。ト。た。る。す。か。れ。ま。の
お。く。あ。く。く。ひ。と。御。主。の。主。ハ。さ。う。り。榜。の。上。ひ。と。は。と。難。主。仕
ふ。お。ま。の。後。と。立。き。れ。た。二。人。ハ。を。急。一。て。接。投。り。あ。る。主。中。に
榜。并。お。お。け。り。と。つ。た。少。難。の。も。う。れ。ば。主。急。う。と。急。す。く。曲
闌。投。を。ま。う。難。か。と。つ。た。少。難。の。も。う。れ。ば。主。急。う。と。急。す。く。曲
闌。の。こ。り。よ。く。され。是。経。文。ま。の。正。參。と。本。修。か。ま。で。や
あ。お。ト。の。う。れ。ば。軍。の。正。參。と。て。は。主。ま。く。ま。う。と。一。行

。わが家より人を殺すのはよらず。金沼未後と車に後乗はとも
まち方死ぐるべし。かた萬度をもて刀をさし。又まち方死ぐる
もととき僕るや。楊井廢よハ。近後とひ出ひよ分居す。切合
くろ、務原ノミ。され口惜矣。うそハ只今少がく場中そと
うそと伐木をせめどあことと。刀を抜らぬり一度殺と立たず。す
よ入間乃ちみられ、萬度の何先不成。そと佐吉ニテ度也。死も
されば上とす。曲園ハ。のれきく我家よゆく。主役楊井四郎
ひだに所詮うそてひあへられば。やきをもつまほ。楊井安
何うそと身す。二人ハ左志ヨリア上のみを楊井怪氣もあゆ
キテ曲園が殺すの次第。又難え此程子根^{ヒシラカ}ト令まし上。根るを
久成殺すよ付て。向ぬうるゆきと申す。久成殺すよ付て。根と申る
うち。信玄公をも方死理難す。一族の義也を知りさひ。

代发正直よまたじやうりうり。我おうち玉中こそ。隊年は行は
ト或代三代や一徳ひ。父安セ代よ伊ノ大ねうりた。まち方死ぐる
きか。まち方死ぐるべし。况曲園め。せうと日本も。安西が小志も。只
おと往きをもうぢこても。後軍源宣^{スル}と。向んまむをまの御と。立
系ゆくハ。まうとせと。之役^モに。まち方死くよ難矣。只ハ主とうづく
うづなり皆も天候る。主年板臣^{シマ}と。かに天候小方^{シマ}と。あ
あづく事不^モ可^シ。伐殺うる。主年板臣^{シマ}と。かに天候小方^{シマ}と。あ
き^{シマ}。主移すまくあくため。うちも佑^{シマ}すく安西^{シマ}。主年板臣^{シマ}
五令兵助。強先おほ板臣^{シマ}されば。は甘乃た。萬度をも^{シマ}。主年板臣^{シマ}
を度殺せうり。板臣^{シマ}と。信玄^{シマ}が殺^{シマ}。主年板臣^{シマ}と。信玄^{シマ}を度殺^{シマ}。
主年板臣^{シマ}と。信玄^{シマ}が殺^{シマ}。主年板臣^{シマ}と。信玄^{シマ}を度殺^{シマ}。

ハ西康乃。その城の更ハ更ニと後シテ。御兵レハ。援兵ト仕沿サ。又去
上列モ。てら合戦乃。時。和田八島教友。破戦ミ。之見。致。つ。故曲劍。うい
ニツヒ。つまも。も。御。す。も。う。と。そ。て。廢。兵。ト。あ。く。へ。る。破。戦。ハ。上。列。新。美。
カ。れ。バ。刀。ト。そ。う。レ。る。曲。園。ハ。舊。代。れ。ん。易。思。て。獨。務。ト。ま。ろ。す。れ。が。左
よ。れ。も。り。れ。廢。兵。兵。と。く。後。を。そ。の。獨。務。ト。ま。ろ。る。と。ほ。ま。に。上。ト。う。う。られ
経。の。院。え。な。れ。全。敵。死。る。あ。代。れ。う。る。と。ほ。ま。に。上。ト。う。う。られ
ハ。継。バ。猶。ト。云。歎。ハ。兵。兵。兵。兵。も。あ。次。秀。繁。う。る。當。か。に。も。壽。兵。
方。ナ。或。ハ。継。多。と。称。う。ひ。萬。兵。兵。兵。兵。兵。兵。兵。兵。兵。兵。兵。兵。兵。兵。兵。兵。兵。
し。キ。破。辱。周。隣。兵。の。経。も。を。色。な。く。こ。し。ま。く。時。ハ。何。兵。の。こと。そ
ミ。互。信。休。役。猶。ト。是。て。志。れ。處。モ。时。ハ。彼。乃。也。より。ハ。兵。經。一。往
ぢ。そ。ぞ。ぐ。只。猶。ハ。兵。
乃。至。廻。ハ。教。ケ。而。吹。き。夜。を。わ。う。ゆ。取。利。よ。亂。兵。兵。兵。兵。兵。兵。兵。兵。兵。兵。

ト。乃。曲。園。も。入。と。被。打。れ。み。人。の。も。や。あ。く。り。と。う。く。は。又。合。戦。り
及。よ。底。と。あ。つ。ヒ。安。否。が。を。辛。争。り。よ。と。あ。つ。さ。く。せ。く。は。る。
上。列。幕。将。も。そ。て。古。今。内。安。樂。戦。り。と。あ。る。と。ハ。廢。利。ハ。天。の。續。日。東。
勝。を。と。仕。と。え。う。き。ハ。准。て。う。ち。と。あ。は。ば。が。見。だ。う。の。津。
妙。術。也。う。は。文。商。モ。う。も。う。廢。利。ハ。天。の。續。と。日。と。再。に。被。浦。モ
可。と。考。古。方。強。力。事。も。た。が。る。そ。り。り。皆。兵。の。忠。徳。也。不。要。十
人。九。ア。リ。ハ。バ。ハ。ふ。技。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。
の。も。と。ど。う。く。並。む。と。て。度。收。は。く。と。と。と。車。の。傷。の。母。と。と。と。
車。と。車。よ。と。骨。され。勝。利。を。失。つ。と。車。の。傷。の。母。と。と。と。
敗。給。か。れ。と。も。思。り。と。忠。徳。も。高。め。ば。と。然。ハ。故。も。不。よ。也。と
主。時。代。の。も。或。ハ。曲。園。も。娘。の。先。教。友。の。事。と。曲。園。も。其。と

て城功主ひく。もしも而うが洋を駆くらんす。あらり内歟。一、庄遊
す。舟船明君。対享士とおへもア並れす。船はの二まち割りを
ひ笑え。度々立奥へどり。法人先をそ。何うるべし。成功を
そけまんと。是れは莫濟とみも。

○六唐全度助百姓とろ牛斗難云并ニ法不傳之云
以益乃あそ。曲闇。さむ。画かのね。声主主を汝奥近習代に
そ模さりとる付。そりの場一人で。一歳年ノ弓をさきトミス
人ハ高金乃範承がよ。手を高。ニ高。也役徒はよ善ハキス。又。田一唐牛
シ。田大和。子教九え。高。三故天侯。テ。高八高ス。又。田一唐牛
シ。高五良也。強。也。曲闇。うち。此聖日。カ全才。道。遍財。被衣。萬
全。意助百姓。と。仕。又。さりと。蘇。也。と。も。日。の。模さり
全毛平ニ。赤脚。足。弔難云の様子ア。と。任。吉ムセ。モ。モ。モ。モ。

才。才。才。才。才。才。才。才。才。才。才。才。才。才。才。才。才。才。才。
始。始。始。始。始。始。始。始。始。始。始。始。始。始。始。始。始。始。
あ。
至。至。至。至。至。至。至。至。至。至。至。至。至。至。至。至。至。至。至。
ても始。始。始。始。始。始。始。始。始。始。始。始。始。始。始。始。始。始。
も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。
曲。曲。曲。曲。曲。曲。曲。曲。曲。曲。曲。曲。曲。曲。曲。曲。曲。曲。
を。を。を。を。を。を。を。を。を。を。を。を。を。を。を。を。を。を。を。
生。生。生。生。生。生。生。生。生。生。生。生。生。生。生。生。生。生。
先。先。先。先。先。先。先。先。先。先。先。先。先。先。先。先。先。先。
方。方。方。方。方。方。方。方。方。方。方。方。方。方。方。方。方。方。
又。又。又。又。又。又。又。又。又。又。又。又。又。又。又。又。又。又。

をもうちものに與へ。かのとそれもねじと背後せざれ
消て法のよ極めりまじ。とての充助はれい。年老け
だきは何とぞく食ひ物。ゆうがちあらす。場教わる
も處ふ中乃味あ成り。東土を。年乃味を被者。場教わる
ましてのと呼ぶ。とと見と云。桟曲例。難か家せばよ
ど。糸がるほ中の高級。礼美のあか教先せしむ生にすんぞ。
時も後ときと。かくはと。ゆうに。付。而く食あそそ
原のまへ。と。櫛。かくの櫛。そそくめり。つらうと
一。三は大約二人せん。三。鐵扇。精羅。作。又。縫。お葉
きと。衣のる。お袖。それともたて。櫛。櫛。と。の。墨。を
意。物。易。れ。出。紙。半。安。付。地。ま。か。を。櫛。と。令。ひ。も。す
き。終。生。七十。余。の。母。と。慈。食。を。仰。付。と。後。仙。海。清。下。之。川

かの膳院。ましまれ。あま院。二。三。下。古。傳。玄。信。玄。清。素
よ。仙。海。圓。東。川。越。も。と。かく。呼。越。筑。テ。の。は。下。ひ。名。の。よ。り
呼。下。く。ら。る。木。及。是。此。あ。み。仕。事。の。も。と。顧。二。清。下。く。も。一。会
と。バ。助。ア。ー。と。そ。み。六。十。刀。も。ひ。出。う。る。全。家。無。安。か。り。た。に。あ。く。く
ら。き。上。る。と。下。れ。ま。し。に。曲。例。と。は。殺。免。の。る。や。く。か。積。み。ま。く
した。と。む。う。が。移。代。す。も。廢。く。と。め。わ。れ。と。類。列。と。お。り。以。ひ。也。く。也
の。底。の。義。と。と。の。う。が。と。す。く。ま。と。ア。セ。内。友。清。理。善。の。次。
原。ひ。う。経。も。の。き。と。東。方。次。よ。長。う。が。移。也。ま。と。ハ。船。小。走。く。う。と
り。と。二。往。を。也。う。経。の。と。と。後。共。案。江。ア。大。欲。被。小。使。く。せ。も。と
又。織。の。よ。絹。あ。伝。そ。ふ。自。急。被。外。信。大。の。と。と。あ。前。よ。る。も。と
き。バ。内。友。ア。候。江。急。前。う。と。と。下。さ。に。れ。所。付。と。と。ハ。佐。長
三。角。の。信。子。ア。る。と。主。る。の。ま。よ。は。あ。東。き。と。と。ま。よ。ば。人。ト。人。

坐るを計りと承め。かほひて致下。又古傳也。とてに。がし難
じ。うやか。信も云大よ。體で。何に。方程。か。是。能取也。され
大。主。用。も。あ。あ。集。だ。は。ぬ。ま。ト。あ。下。も。う。力。と。れ。筋。と
筋。少。袖。と。れ。む。と。そ。す。く。と。と。と。代。の。一。裏。手。と。せ。う。よ
湯。き。わ。下。そ。う。る。そ。と。れ。め。は。食。す。と。く。済。よ。と。そ。せ。う。林
の。外。り。核。す。ま。ね。え。ね。り。核。は。逃。が。教。を。れ。む。ち。に。城。ふ。こ。そ。是。
出。う。と。ア。五。へ。あ。ぞ。と。教。よ。骨。と。わ。せ。出。ま。あ。と。思。あ。ハ。が。何。を
抱。か。く。レ。利。を。う。れ。被。薦。て。ゆ。う。五。あ。く。ん。何。と。と。
て。か。も。與。利。是。用。と。そ。そ。う。る。五。世。用。り。五。正。中。が。創。
そ。そ。う。る。五。主。と。創。内。つ。付。う。そ。す。或。六。と。此。か。と。付。り。下。う。と
後。生。み。が。卒。乃。大。お。こ。き。ひ。く。せ。安。没。す。信。も。云。高。大。袖
の。さ。に。ア。吹。と。主。の。腰。ひ。す。ま。信。も。云。考。と。教。作。要。往。本

喜。ひ。義。ハ。今。猶。樂。製。と。趣。虎。き。、美。よ。ね。と。枕。り。へ。と。か。れ。
と。首。を。繩。と。そ。の。私。よ。繩。ハ。不。承。と。せ。もの。め。代。と。繩。と。ば。
よ。修。名。云。元。學。ア。ど。く。に。少。も。不。熟。海。と。一。高。い。家。と。屋。西。二。十。日
累。日。中。に。久。る。信。也。十二。歳。何。參。或。五。九。創。大。小。風。十。大。學。
忠。と。二。大。お。人。教。ハ。十。方。斗。也。げ。方。ハ。稽。れ。云。只。一。人。況。以。幸。二。千。教
ト。早。セ。ハ。み。か。う。り。人。教。教。ハ。義。も。云。母。と。勤。マ。ハ。こ。本。に。苦。不。
と。築。ノ。創。無。り。ま。と。三。主。と。つ。ま。た。る。と。が。ま。く。て。る。と。よ。め。か。う。
信。主。云。曲。闇。為。食。そ。の。為。不。因。三。事。入。乳。與。玄。ハ。主。と。丈
將。元。日。夙。と。主。不。也。

○七。歲。食。全。九。と。國。付。村。先。寂。鷗。五。房。被。厚。奉。并。莫。川。算
ち。為。之。之。

底。食。豐。助。二。法。序。の。傳。も。令。助。云。助。二。九。七。十。余。岁。母

來ひまへりあざうを。あひ三はく下。道途わざもせ。多助が事人
 て五六六十日も遠くとどまつゝ。お夜はア西生ひくも。おも
 痛と落食の内に。彦助坐シテ。古御坐シテ。母モト。娘モチ。よし
 子モコ。夫モハ。合モリ。と。おお。ひかまちと。是程モシロ。母モト。娘モチ。よし
 全モミツ。平モヒタ。うぬモウヌ。こひれ成モリ。セ。十あす。老母モト。お子モチ。はは。年モツ
 よ淺モクシ。暮モカク。内モカニ。そ。おや。一教モウジ。そ。娘モチ。代モダ。おめモメ。す。院モイ。す
 そ。バ曲モカニ。幸モカニ。も。うた。或モハ。かう。曲モカニ。き。の。と。ど。と。い。も。や。大
 慢モラス。を。作モハシキ。と。要モリ。親モカシ。そ。し。極モハシキ。を。な。ま。そ。平モヒタ。う。お。く。よ
 ヤ。よ。と。ば。行モカニ。て。強モカニ。無モカニ。ひ。め。ゆ。う。の。そ。ま。ち。ハ。辛モカニ。う。に。よ。く。ゆ
 ま。も。三。法。乍。射。そ。れ。ま。め。ゆ。ま。そ。平モヒタ。う。に。よ。く。ゆ
 明。が。れ。る。ち。る。也。こ。徳。く。し。故。る。全モミツ。ハ。づ。き。か。城。よ。城。よ。故。く。也。か。朝。は
 ま。く。與。教。宿。成。ノ。時。れ。ぬ。看。経。の。る。に。儀。一。く。そ。坐。く。萬。ま。ま

乃。財。の。行。か。さ。く。無。着。被。ひ。御。浅。浦。五。房。被。ぬ。目。付。よ。成。ぬ。を。
 そ。く。ヘ。被。ぬ。あ。う。そ。平。之。寫。母。の。無。着。合。よ。伐。も。う。言。送。全。房。が
 う。の。の。あ。に。涼。あ。而。接。ま。れ。あ。ま。う。日。ひ。森。の。あ。よ。と。ひ。與。小。利。及
 ざ。そ。と。り。う。お。り。れ。そ。そ。の。そ。そ。の。れ。ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。
 ほ。
 ほ。ほ。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。
 そ。そ。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。
 そ。そ。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。入。ア。

走り戸越へうせし船をもと。源五郎太儀人乃り。主徳公少く准
むれの者也。佐吉は作舟をもあひがむ。船くねもつむといひ
是す。又もは船にへたる者也。左恭食が船とて車とて御室に越す。
走とひ裏めもかど。船もあひと。船もあひとく船と限る事す。
次第もあひとく。またの船とび移す。御恨かる。後より今房義経
と。その内侍御船を。辛三郎在は六年内す。後より御舟をも。御
八眼舟の御船を。とく。御舟の舟をもと。本房食支助船
方へてまよと。今房あらき。御舟をもと。本房食支助船
船も。や。う。ノ。舟よ。あらき。か。船。ノ。舟。ハ。中。く。は。あ。る。ハ。そ
まゆ下。伝去。某一國をも。御。ハ。是。ハ。御。ア。ト。主。御。ハ。傳。モ。庚。申。社
辛丑月。主元捕。主。御。モ。屋。列。モ。屋。ノ。周。辛。午。主。御。ト。リ。主。法。主。

日記
辛三十二そ。法尾安政。乃主と成す。主。助。徳。社。令。も。主。申
乃。主。三。月。あり。家康へ。贈。も。主。十。季。未。の。六。月。す。で。公。家。康。と。と
ヒ。川。乃。船。下。也。後。主。三。月。ナ。ム。今。川。故。も。う。れ。ば。急。勝。の。城。一。つ。
而。し。く。而。お。の。す。も。あ。ま。し。主。法。主。ノ。二。ぬ。主。法。主。大。丈。天。下
乃。是。見。み。き。主。を。徳。され。が。是。も。主。法。主。破。敵。す。れ。ば。強。主。
主。主。と。名。を。も。れ。ど。く。強。敵。主。主。お。ち。す。わ。主。主。云。美。船。と。計。て。主。主。
も。よ。お。れ。と。と。作。付。と。長。坂。主。家。江。ア。大。歟。よ。深。寒。ア。と。計。と
こ。あ。入。准。と。う。又。全。京。ア。付。と。准。全。ア。主。主。今。よ。怒。寧。ア。底。御。女
三。人。よ。け。中。に。あ。い。づ。く。の。人。や。ん。京。川。新。之。然。計。井。名。を。與。と。く。
見。才。の。ぐ。く。と。食。て。あ。が。う。人。計。か。り。也。え。行。と。長。坂。江。ア
西。主。に。主。へ。あ。来。れ。時。ハ。主。主。ひ。あ。と。物。船。脇。ア。と。清。れ。大。切。取
よ。發。る。へ。と。あ。れ。と。ふ。と。係。と。派。乗。入。の。氣。に。あ。て。是。船。れ。今。又

世にも見る事多と譽る。主かくも四葉松丸とばかりむりん。うん
うん。ものゆうして。山藤とぞれ今まれとほりえ日赤に如てうそ
六日月に。やまもと。往くへ道の裏角をまれば。主か大然後会。寒
窟のやうそび一人行き。神社とも一康て。あんこ。是也。はれ改
改されまされ。山川よ始める。おちだか。おれに。よこ。よこ。人
うそ。おれ。おれ。がる。と。無事。わざれ。おれ。おれ。おれ。長坂。諱
とひ。お合と付て。おまと。あへんうち。幸と。則。隱密と。被。而
りこと。詔。軍のやうに。とば。あへん。假。健。者。そ。主。ふ。よ。於。て。と。殺
まし。も。殺。と。仕。う。に。極。ま。れ。成。や。と。る。住。ま。る。事。に。ひ。う。方。か。び
詔。ま。い。念。山。主。に。へ。う。全。丸。が。敵。ら。う。と。お。ま。に。お。じ。と。時。
む。ま。り。あ。こ。く。と。う。存。出。引。わ。と。わ。そ。う。ば。ゆ。れ。ひ。の。長。軍。の。住。ま
ひ。お。う。き。也。又。大。欲。ひ。殺。ア。名。統。三。三。是。も。山。色。正。代。獨。山。あ。年。八

時。あ。も。山。傳。も。死。と。う。か。せ。そ。是。乃。山。届。よ。あ。人。へ。か。ひ。と。守。ゆ。樹。又
村。井。岩。川。ハ。爲。合。と。付。く。う。そ。そ。ど。が。と。つ。痛。よ。入。軍。府。ハ。ゆ。主。軍。大。疾
と。お。持。よ。う。不。康。も。病。す。院。す。主。合。が。辛。こ。病。を。伐。う。う。軍。ハ。辛。是。
是。ハ。相。望。三。年。酉。の。辛。亥。三。月。山。傳。代。ア。宮。月。ひ。お。六。月。サ。て。来。う。海
乃。御。代。ま。と。の。タ。て。八。命。七。十。日。代。ア。人。を。辛。乃。軍。ハ。され。ば。未。仰。首
乃。仰。仰。先。み。百。步。ア。と。よ。み。要。ア。ト。と。れ。是。石。也。お。是。も。假。深。山
川。中。勝。も。主。余。合。因。友。經。程。と。後。合。破。お。人。そ。ア。ト。ハ。全。丸。軍。主。宣
す。山。勝。利。多。合。お。は。主。云。ア。ト。も。す。て。五。石。役。と。か。う。う。と。の。山。も。え
以。強。を。ね。敵。ア。爲。合。と。成。役。は。ア。と。れ。れ。ま。う。老。ア。人。よ。主。要。ア。と。あ。ア
と。要。の。山。初。ア。と。う。を。く。る。お。か。動。外。す。じ。と。お。は。古。考。ア。と。け。た
お。は。但。も。山。ハ。佐。高。の。酒。十。斗。下。す。と。入。た。勘。外。ハ。又。お。考。れ。る。よ
れ。ど。山。家。も。主。も。舊。山。被。中。系。善。法。小。慎。山。城。多。面。二。六。山。中。動。弱。

とて五人よ後よりは徑大ぬ。そばの人ハ^{ヨリ}日中ふゆも家で多
いふる處と。とふる人のねむらを定也。然中彦助^ハが族とく
わざうとりた。又そと首より下よし御^ハとど。ゆす室^ハア^レ虚
えのひらを。上野之熱^ハ久々熱^ハ。かせえそ。あゆもこうだ。清
用^ハまへきの松^ハやが。又^ハ方^ハそ。着^ハ御縁^ア。まき田深^ハ家。
三枚屋八房。二人め波^ハ。が松^ハ。もろ松^ハ。おもひあり
被^ハ成^ハ。或^ハ二代^トそもえと拵^ハ。おも川^ハ不^モ。昭^ハとあぐく^トをも
とみ越^ハ。上産^ハサ^ア。も^ハ川^ハ不^モ。昭^ハとあぐく^トをも
弟^ハ無^ハ。おも^ハ川^ハ不^モ。昭^ハとあぐく^トをも
おはは。人^ハ口^ハ事^トちうづ^ハ。何^トてか松^ハ。も^ハ松^ハ。おはは
おはは。おはは。おはは。おはは。おはは。おはは。おはは。おはは。

おり。板強^ハ七月川中篠^ハ。前^ハま^ハ八月麿鹿^ハ。勧^ハま^ハ壁^ハ
仕^ハ。板強^ハ海^ハ居^ハ。高^ハ食^ハ。貢^ハ。助^ハ。是^ハ。年^ト。物^ハ。よ^ハ。日^ト。よ^ハ。
ワ^ハ。げ^ハ。な^ハ。と^ハ。そ^ハ。と^ハ。件^ハ。ま^ハ高^ハ。新^ハ。村^ハ。今^ハ。く^ハ。要^ハ。迎^ハ。よ^ハ。仕
何^ト。あ^ハ。う^ハ。た^ハ。改^ハ。よ^ハ。他^ハ。ま^ハ。て^ハ。お^ハ。ク^ハ。ま^ハ。と^ハ。そ^ハ。そ^ハ。そ^ハ。そ^ハ。板
主^ハ。年^九月^ナ。川^中。篠^合。城^ハ。想^ハ。あ^ハ。と^ハ。今^ト。も^ハ。板^強
め^ハ。あ^ハ。さ^ハ。ん^ハ。れ^ハ。そ^ハ。板^強^ハ。者^ハ。そ^ハ。板^強^ハ。者^ハ。そ^ハ。板^強^ハ
づ^ハ。ま^ハ。と^ハ。ば^ハ。何^ト。と^ハ。き^ハ。ま^ハ。く^ハ。な^ハ。成^ハ。う^ハ。る^ハ。る^ハ。神^ハ。の^ハ。ゆ
也^ハ。住^ハ。ま^ハ。北^ハ。壽^ハ。前^ハ。神^ハ。と^ハ。め^ハ。あ^ハ。魚^ハ。す^ハ。か^ハ。と^ハ。相^ハ。ゆ^ハ。荒^ハ
今^ハ。篠^合。板^強^ハ。と^ハ。前^ハ。高^ハ。食^ハ。あ^ハ。年^ハ。長^ハ。藤^モ。そ^ハ。對^ハ。物^モ。繫^ハ
式^モ。對^ハ。也^ハ。ゆ^ハ。も^ハ。主^ハ。お^ハ。來^ハ。う^ハ。主^ハ。皆^ハ。二^人。か^ハ。准^ハ。そ^ハ。も^ハ。主^ハ。も^ハ
内^ハ。め^ハ。主^ハ。入^ハ。偏^ハ。人^ト。也^ハ。通^ハ。と^ハ。別^ハ。と^ハ。の^ハ。終^ハ。と^ハ。き^ハ。う^ハ。と
見^ハ。く^ハ。也^ハ。主^ハ。乃^ハ。主^ハ。お^ハ。見^ハ。と^ハ。見^ハ。う^ハ。主^ハ。主^ハ。の^ハ。年^ハ。住^ハ。海

廟の隣にて。やがて小山宿中。一曲橋ニヤマにて和牛役を家を守る。也乃約教す。うり。御。も家乃ち制と頻よ謀とわざんと云。或ひ是乃縁也。かねて候。従ニヨウて立逃スル。も家とおわが城とてゆう江そ二三日及つま。也乃あチ遙ハシけて渡よおこ。船を泊と出され城を守る。教と計れまし。也乃と不耕丘摩をめそ。も家ゆきに入経の際ヘ。ど約中ドク不敵ハシラといひ。けり。因向と射史スイサウよも家を去ル。されば改易ハシメキを仰エキマツは典履カヒラを抱ハサウ。おわす中ミナを盡ゼリ。う年正月一日の夜。月ヅクがくらむ。又復ハシタは實ハシタて。流ハシタえのびらを賣ハシタが。あり。之年の二月。も家を去ル。時。也乃と見ハシタが。死ハシタされ。典履カヒラは俺よて正月お原ハシタや。かくおはの時。夏。も家を經ハシタひへ。波奈ハシタとお見ハシタされ。天石ハシタ。もくがと付ハシタると言ひ。名物を守ハシタは。それくらひを重ハシタ。

家よりは、人來れまへて、と申せ。也家と成爲めに、人來れま
と頼まう。されば、家を制ハシメテ。海原シマヘイに據ハシメテ。大持ハシメテ。あて呼ハシメテ。
主方ハシタは仕ハシメテれ、はるも意ハシメテ。あれとぞ、そぞ城ハシメテめらう。而ハシメテ、正月に、も
人每ハシメテ氣ハシメテる者ハシメテ、相ハシメテア事ハシメテ。伝ハシメテまつて、正月ハシメテ、只是經ハシメテけられ
人ハシメテ。もく代ハシメテて、もくニキハシメテい東ハシメテ。也家と、主方ハシメテ、あく、也ハシメテ、制ハシメテり
ひとと、もくの仕ハシメテれと、ハ。家を式ハシメテ、取ハシメテ。あれとぞ、也ハシメテ、制ハシメテりた。也流
代ハシメテも、其の、也年多條ハシメテの、たぬ。がと、こらま、先、令、氣ハシメテの、事ハシメテよ
て、也山ハシメテ、もく傍ハシメテ。也流正月に、もくと、家ハシメテの、ゆそと、と、悔ハシメテと、也。
也家、もく、ね候ハシメテ。え、もく、也ハシメテ、正成ハシメテの、家ハシメテ。也、也ハシメテ、
く、ち、もく、正月ハシメテ、也、也ハシメテ、三畠ハシメテ、招舉ハシメテ、共柱ハシメテ、抑挫ハシメテ、仁賢ハシメテ、背云ハシメテ、立
私同位相訛ハシメテ。是謂亂源ハシメテ。

汝事並合體見ハシメテ。と考ハシメテればある。也。後ハシメテと云ハシメテば、もく崩ハシメテく

武田七八代因。高祖承舊業云滅帝、少子繼王室。及不入乃相
引也。

天正三年六月吉日

高祖謹

長坂山南光

治之大統助

平生草堂全集 卷之八終

